

ESG(環境)

保有物件における環境への取り組み

■各保有物件別の主な取り組み

■キャナルシティ博多



◎運河水濾過システム (雨水の水利用システム)

キャナルシティ博多のシンボルである運河は、親水機能と非常時の消防用水としての機能をもっており、この運河には常時約 1,200トンの水がたくわえられている。この水には省資源の観点から雨水を利用。



◎地下水浄化システム (RO 処理システム)

キャナルシティ博多では、館内の地下水をRO膜(注)という特殊な膜を使った水処理システムで再生し、館内で使用する上水を生産。

(注) RO 膜: 非常に細かい穴のあいた膜でその穴を通過出来るのはほぼ水の分子のみで不純物や有害物質を除去する膜で海水や泥水からも飲用水の生成が可能

■パークプレイス大分

◎空調負荷の低減について

施設内では、飲食専門店街通路及びフードテラスの天窓に遮蔽剤を含有した塗膜を貼付。



■木の葉モール橋本

◎太陽光発電システムについて

シンボルである木の葉の形をした造作物の上に太陽光のパネルを配置し、建物デザインと環境の一体化をはかった太陽光発電システムを設置。



■グリーンビルディング認証



DBJ Green Building

2017

- 木の葉モール橋本
- ロジシティ久山

2017

- 東比恵ビジネスセンターII

2016

- キャナルシティ博多
- キャナルシティ博多・B
- パークプレイス大分
- キャナルシティ・ビジネスセンタービル

2016

- 呉服町ビジネスセンター
- 東比恵ビジネスセンター

日本政策投資銀行が環境・社会への配慮が優れた不動産を認証する「DBJ Green Building 認証」。極めて優れた(または非常に優れた)「環境・社会への配慮」がなされたビルとして、本投資法人が保有する9物件で認証取得済。(認証取得率 62.4% (延床面積ベース))



日本政策投資銀行 山岐九州支店長より授与



「非住宅建築物に係る省エネルギー性能のための評価ガイドライン(2013)」に基づき、第三者機関が非住宅建築物の省エネルギー性能の評価及び表示を行う制度。本投資法人が保有する4物件で認証取得済。

東比恵ビジネスセンターII



東比恵ビジネスセンター



ロジシティみなと香椎



ロジシティ久山



ESG(社会)

■資産運用会社の働き方改革

2018年8月28日付で株式会社福岡リアルティは「ふくおか「働き方改革」推進企業」に認定された。

本認定制度は、福岡市が働き方改革を進める指標として選定した「取組項目」のうち、一定数以上の項目を達成している企業を認定する制度。



福岡市経済観光局 高島局長より授与

◎認定された取り組み項目

- ・従業員向けの研修制度がある
- ・自己啓発の取り組み支援制度がある
- ・キャリアアップの目標設定の支援又はキャリア形成の相談体制がある
- ・資格取得補助制度、英語研修制度(補助)、簿記学習(補助)制度がある
- ・勤務時間の縮減を奨励する施策をとっている
- ・時間単位又は半日単位での休暇制度がある
- ・キャリアアップに資する研修等の人材育成制度がある

◎福岡リアルティ 2018年8月31日現在

本資産運用会社従業員数は39名(女性比率46.1%)で、正社員の平均勤続年数については、7年6ヶ月です。

■常勤従業員数:39名(男性21名 女性18名)

■スポンサーからの出向者の受入:2名

■スポンサーへの出向者の派遣:3名

■有資格者数(延べ人数)

- ・宅地建物取引士:24名、・ビル経営管理士:4名
- ・一級建築士:1名、・行政書士:1名、・経営学修士:1名
- ・不動産証券化協会認定マスター:16名、・弁護士:2名
- ・不動産鑑定士:2名、・中小企業診断士:1名

■地域コミュニティへの取り組み

環境向上活動の一環恒例イベント



キャナルシティ博多では環境向上の一環として、「博多ひ〜んやり!打ち水」を実施。本資産運用会社従業員も参加。

安心・安全活動



パークプレイス大分では、『安全安心街作り協議会』を設置し、関係機関・団体と連携による防犯パトロールや青少年の非行防止を積極的に努めている。

クリーンデイ



本資産運用会社従業員が地域清掃活動に積極的に参加。(2018年9月27日現在通算265回)

地域イベントへの参加



2018年度博多祇園山笠に参加。(八幡山笠 上川端通、台上がりを本資産運用会社社長松雪が務める)

地元活性化のサポート OnRAMP



株式会社ドーガン・ベータと共同で、九州における起業家育成・支援を目的として、会員制のオフィス「九州アントレプレナークラブ "OnRAMP"」を開設。

ESG(ガバナンス①)

■顧客本位の業務運営に関する基本方針の制定

株式会社福岡リアルティは、2017年3月30日に金融庁が発表した「顧客本位の業務運営に関する原則」に掲げられた7つの原則をすべて採択し、2017年9月20日顧客本位の業務運営を実現するための基本方針を制定。

当社の基本方針

1

当社は、上場リートの資産を運用する金融事業者であり、当該上場リートの投資主の皆様の資産運用ニーズにお応えできるよう、常に質の高いサービスを提供するため努力してまいります。

2

当社は、地域の個別事情に精通した資産運用会社として、情報力とノウハウを活かし、投資主の皆様の利益最大化に向けて努力します。

3

当社は、投資主からの受託者責任 (Fiduciary Duty) を第一に考え、利益相反取引の管理などを適切に実施してまいります。

4

当社の役職員は、日々誠実・公正な業務を行い、投資家の皆様をはじめ、当社のステークホルダーに対して責任を持って行動します。

5

当社は、法定開示・適時開示に加えて、任意のIRについても積極的に実施し、情報開示の公平性と透明性を高めてまいります。

■ガバナンス体制



監督役員
川庄 康夫

執行役員
松雪 恵津男

監督役員
新道 弘康



福岡リート投資法人

■役員会開催回数：10回（第27期（2018年2月期）と第28期（2018年8月期）の合計）



取締役（非常勤）
原 秀憲

取締役（非常勤）
渡辺 義朗

代表取締役社長
松雪 恵津男

専務取締役 企画部長
江口 彰

取締役（非常勤）
紫牟田 洋志

監査役（非常勤）
田坂 正則



株式会社 福岡リアルティ

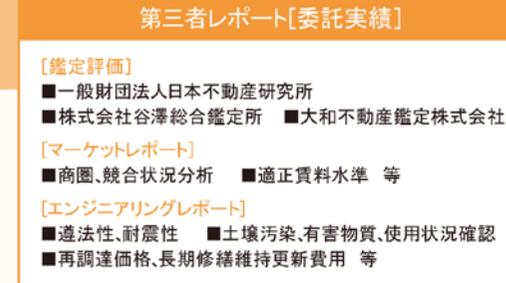
■取締役会開催回数：12回（2017年度の合計）

ESG(ガバナンス②)

◎福岡リアルティ 投資・運用に関する案件の組成/起案

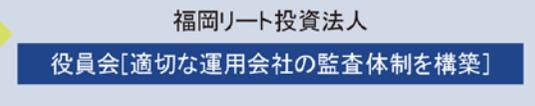


◎外部専門家



■コンプライアンス基本方針とコンプライアンス規程

コンプライアンス部長及びコンプライアンス評価委員による法令遵守の確認、コンプライアンス評価委員会による利害関係者との取引について利益供与の有無の確認を行い、これによって法令違反のリスク、利益相反のリスクの防止に努めている。



◎運用ガイドライン(利害関係者取引判断における自主ルール)



(注) 投信法第201条の2第1項に定める事項に該当する場合は、投資法人の役員会の事前承認を得ます。